

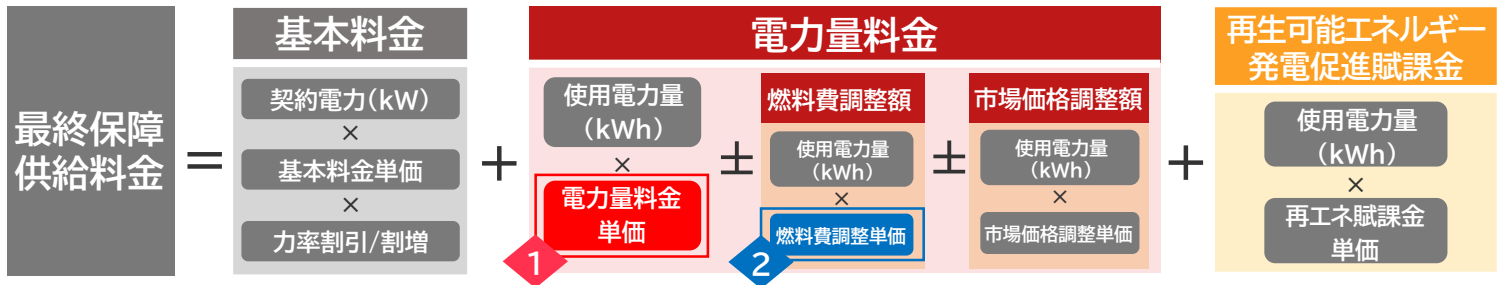
# 2023年4月の最終保障供給料金見直しの概要について

このたび、中部電力ミライズが標準料金メニューの見直しを公表(2022年10月28日)したことを受けて、**2023年4月1日より最終保障供給料金も同様の見直しを予定しております。**

なお、中部電力ミライズは、新たな託送料金制度導入に伴う当社の託送供給等約款の見直し(2023年4月実施予定)内容を反映した後、具体的な料金単価をお知らせすることとしております。当社においても、標準料金メニューの料金単価が確定次第、最終保障供給の料金単価を決定し、お知らせいたします。

## ■ 料金見直しの概要

- 1 電力量料金単価の見直し**  
標準料金メニューの電力量料金単価が見直しされることを受けて、**最終保障供給料金の電力量料金単価を見直しいたします。**
- 2 燃料費調整単価の見直し**  
標準料金メニューの燃料費調整単価が見直しされることを受けて、**最終保障供給料金の燃料費調整単価を見直しいたします。**



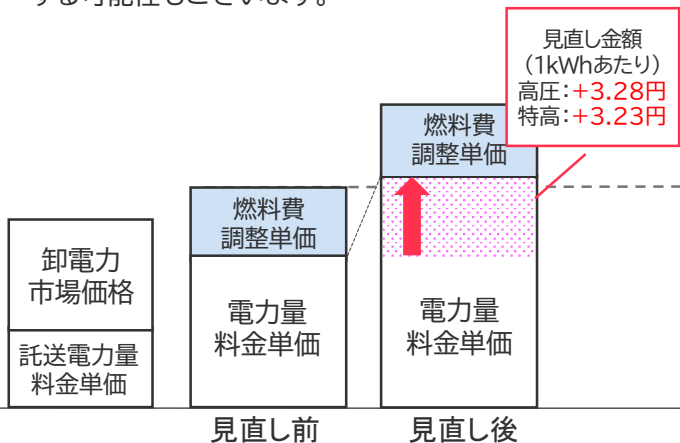
## 1 電力量料金単価の見直し

標準料金メニューの電力量料金単価の見直しと同様、**供給電圧に応じて次の金額を最終保障供給電力量料金単価に加算いたします。**

電力量料金単価 (1kWhあたり)	+	供給電圧	加算額
		高圧(6,000V)の場合	<b>3.28円</b>
		特別高圧(20,000V以上)の場合	<b>3.23円</b>

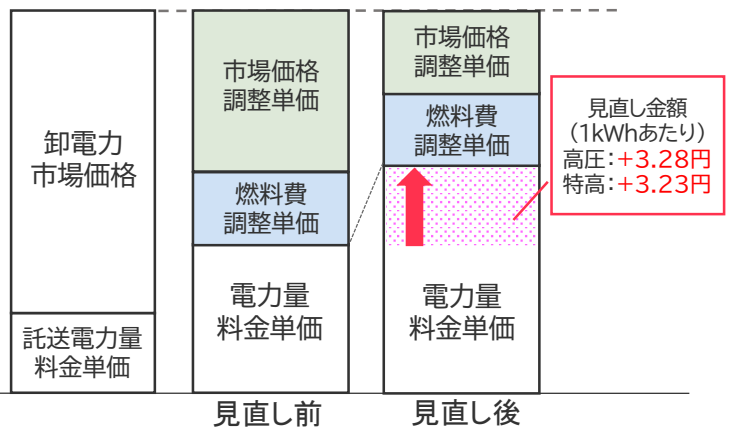
### <市場価格平常時>

燃料費調整単価を加算または減算する前の電力量料金単価は、**見直し前より値上げとなります。**  
※燃料費調整単価の変動により、実際のご請求金額は減少する可能性もございます。



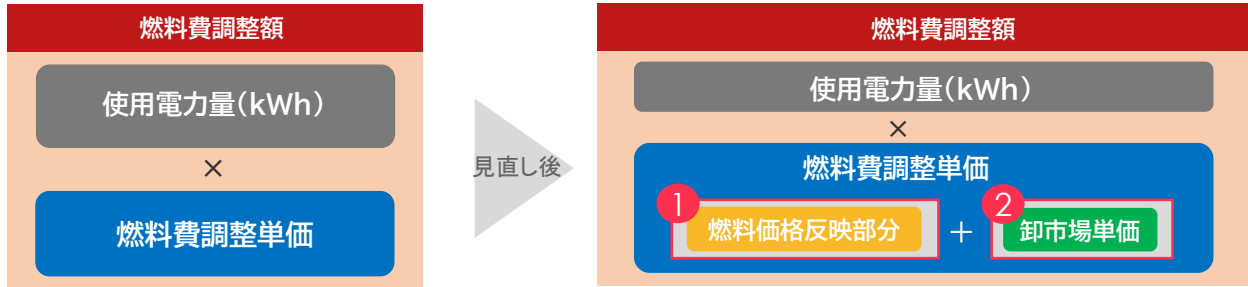
### <市場価格高騰時>

市場価格調整単価加算後の電力量料金単価は、**見直し前後で変わりません。**  
※見直しにより市場価格調整単価加算前の電力量料金単価が増加した分、市場価格調整単価が減少いたします。



## 2 燃料費調整単価の見直し

- 燃料費調整単価は、電気をつくるために必要な燃料(原油・LNG・石炭)の価格変動に応じて、電気料金を調整するものです。
- この燃料費調整単価について、**標準料金メニューにおける燃料費調整単価の見直しと同様の内容を、最終保障供給料金へ反映いたします。**



### ① 燃料価格反映部分 (見直し前の燃料費調整単価に相当します。)

原油、LNG、石炭それぞれの3カ月間の貿易統計価格にもとづき算定し、燃料価格の変動を電力量料金に反映いたします。

⇒今回、「**平均燃料価格の算定諸元**」と「**基準燃料価格**」  
および燃料費調整単価を算定する際に用いる「**基準単価**」を見直しいたします。

#### 《平均燃料価格の算定》

(見直し前)

$$\begin{aligned} & \text{算定期間の平均原油価格} \times \text{原油の換算係数} \\ & + (0.0275) \\ & \text{算定期間の平均LNG価格} \times \text{LNGの換算係数} \\ & + (0.4792) \\ & \text{算定期間の平均石炭価格} \times \text{石炭の換算係数} \\ & (0.4275) \end{aligned}$$

(見直し後)

$$\begin{aligned} & \text{算定期間の平均LNG価格} \times \text{LNGの換算係数} \\ & + (0.4381) \\ & \text{算定期間の平均石炭価格} \times \text{石炭の換算係数} \\ & (0.5545) \end{aligned}$$

#### 《基準燃料価格の見直し》

(見直し前)

基準燃料価格  
45,900円/kl

平均燃料価格が  
45,900円を  
下回る場合

プラス調整  
平均燃料価格 -  
基準燃料価格の差分

平均燃料価格が  
42,000円を  
上回る場合

マイナス調整  
基準燃料価格 -  
平均燃料価格の差分

平均燃料価格が  
42,000円を  
下回る場合

平均燃料価格

平均燃料価格

(見直し後)

基準燃料価格  
42,000円/kl

#### 《基準単価の見直し》

プラス調整の場合の燃料価格反映部分(現:燃料費調整単価)算定式

$$\text{燃料価格反映部分} = \left[ \frac{\text{平均燃料価格} - \text{基準燃料価格}}{(42,000\text{円/kl})} \right] \times \frac{\text{基準単価}}{1000}$$

供給電圧	見直し前	見直し後
高圧	22銭3厘	19銭6厘
特別高圧	22銭0厘	19銭3厘

※ 基準燃料価格の元となる燃料価格(原油:65,706円/kl, LNG:82,406円/t, 石炭:10,702円/t)は、現行から変更ございません。

### ② 卸市場単価

卸電力市場価格の変動を反映いたします。

#### 《卸電力市場単価の算定式》

$$\text{卸市場単価} = \left[ \frac{\text{平均市場価格} - \text{基準市場価格}}{(\text{毎月変動})} \right] \times \begin{matrix} \text{卸市場率} \\ (\text{高圧 } 10.3\%) \\ (\text{特別高圧 } 10.1\%) \end{matrix}$$

- 平均市場価格 …算定期間における6-18時の中部エリアの卸電力市場平均価格
- 基準市場価格 …価格変動の基準値(2021年9月~2022年8月の6-18時の中部エリアの卸電力市場平均価格)
- 卸市場率 …9%に損失率と消費税率を加味したもの

(燃料/市場価格の参照イメージ:01~19日程のお客さまの場合)

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
5/1-7/31の燃料価格			10月分料金			
5/1-7/31(6-18時)の卸電力市場価格						
6/1-8/31の燃料価格			11月分料金			
6/1-8/31(6-18時)の卸電力市場価格						

(注) 市場価格調整単価の算定における卸電力市場価格の参照期間(ご使用月の前々月21日~前月20日)とは異なります。



## ■ 見直し後料金のモデル試算

### ケース① 2022年12月分料金(市場価格平常時)を用いた最終保障供給料金見直し前後の料金比較

試算条件	電力量料金 見直し後単価	平均燃料価格 2022年7月1日～2022年9月30日の 貿易統計CIF価格を使用		新たな燃料費調整単価の参照する 市場価格		市場価格調整単価の参照する 市場価格	
	高圧	見直し前	93,300円/kl	2022年7月1日～ 2022年9月30日の 卸電力市場価格の平均	26円79銭	2022年9月21日～ 2022年10月20日の 卸電力市場価格の平均	19円92銭
	+3.28円	見直し後	91,300円/kl				

#### 《モデルケース》

算定月	2022年12月
契約種別	最終保障電力A
供給電圧	高圧(6,000V)
契約電力	100kW
使用電力量	20,000kWh
力率	100%
検針日程	01日程～19日程

#### 《料金比較》

	2022年12月料金(市場価格平常時)	
	見直し前	見直し後
基本料金	167,766円	167,766円
電力量料金	370,000円	435,600円
燃料費調整額	211,400円	208,400円
市場価格調整額	0円	0円
再生可能エネルギー 発電促進賦課金	69,000円	69,000円
<b>ご請求金額</b>	<b>818,166円</b>	<b>880,766円 (+62,600円)</b>

### ケース② 市場価格高騰時を想定した最終保障供給料金見直し前後の料金比較

※平均燃料価格および燃料費調整単価・市場価格調整単価の算定に用いる卸電力市場価格の参照期間は、ケース①と同様。

試算条件	電力量料金 見直し後単価	平均燃料価格 2022年7月1日～2022年9月30日の 貿易統計CIF価格を使用		新たな燃料費調整単価の参照する 市場価格		市場価格調整単価の参照する 市場価格	
	高圧	見直し前	93,300円/kl	2022年7月1日～ 2022年9月30日の 卸電力市場価格の平均 +約10円	37円00銭	2022年9月21日～ 2022年10月20日の 卸電力市場価格の平均 +約10円	30円00銭
	+3.28円	見直し後	91,300円/kl				

#### 《モデルケース》

算定月	2022年12月
契約種別	最終保障電力A
供給電圧	高圧(6,000V)
契約電力	100kW
使用電力量	20,000kWh
力率	100%
検針日程	01日程～19日程

#### 《料金比較》

	市場価格高騰時の料金	
	見直し前	見直し後
基本料金	167,766円	167,766円
電力量料金	370,000円	435,600円
燃料費調整額	211,400円	229,600円
市場価格調整額	155,200円	71,400円
再生可能エネルギー 発電促進賦課金	69,000円	69,000円
<b>ご請求金額</b>	<b>973,366円</b>	<b>973,366円 (±0円)</b>

(注1) 実際の2022年12月分ご請求金額には、見直し後料金は適用されません。

(注2) 本試算は、現行の最終保障供給の料金単価によるものであり、2023年4月以降の料金単価は、中部電力ミライズが具体的な標準料金単価を公表した後に決定いたしますので、2023年4月時点の最終保障供給の料金単価にもとづく試算結果とは、異なる場合がございます。

(注3) 実際のご請求金額や見直し前金額との差額は、燃料価格、卸電力市場価格、契約電力、使用電力量等により変動するため、モデル試算とは一致しない可能性がございます。